

OKAME STYLE

丘女会報
「OKAME STYLE」
第3号
平成31年1月発行
編集 丘女会広報部
TEL：092-561-0662



持ち続けた夢を実現。 女性が必要とされる職場で 県民の安全を守る熱血警察官

うきは警察署 刑事課

62回生 水上桃さん



< Profile >

高62回生
立命館大学文学部哲学専攻卒業

2014年 福岡県警察 警察官拝命
2015年 粕屋警察署地域第二課 配属
2016年 筑後警察署生活安全課 配属
2017年 筑後警察署刑事課 配属
2018年 うきは警察署 刑事課 配属

■今の勤務地での配属は？

うきは市と久留米市田主丸町を管轄するうきは警察署で刑事課に所属しています。刑事課は係が4つに分かれていて1課が強行犯係、2課が知能犯係、3課が盗犯係、4課が暴力犯係で私は1課の強行犯係です。事件も担当しますが、刑事課の庶務も担当しています。1課は強姦や強制わいせつなども担当し被害者は女性が多いため、話を聴くためには女性職員が必要です。性犯罪は生活安全課も関わりますが、刑事課は刑法に関わること、生活安全課はそれ以外の特別法と福岡県の迷惑行為防止条例の痴漢やつきまとい等を扱います。

警察官の仕事に役だった 大学での勉強

新撰組が好きでただそれだけで京都の大学を選択。そして人の人生や心理に興味があったので哲学を専攻しました。哲学は「なんで生きているの？」と結論がない論議をするのですが、物事を深く考えて自分も武装しないと相手の理論に勝てなかったので物事を考える力はずきましました。今の仕事にはとても役に立っています。警察官になることが目標だったので、警察しか受けていません。警視庁と兵庫県警は受けましたが落ちてしまい、就職浪人しようかどうしようかと迷っていた時、高校の部活でお世話になった方が福岡県警は秋にも女性の公募があることを教えてくれて、願書も送って来てくれました。秋の公募で合格しました。

■警察官になろうと思ったのは？

小学生の頃から変態に付きまといられることが年に1回くらいあって、お尻を触られたり痴漢にあたりしていました。高校1年の時に後ろからつけられてむりやり胸を掴まれる強制わいせつにあって、「絶対に許せない！」と思い警察官になろうと決めました。

2年後、同じ警察官と結婚。

お互い異動が多い中協力しあう生活

結婚したことで、仕事でいろんなことがあっても、家に帰ったら気持ちが一回リセットされるのはあります。夫も違う所轄で警察官をしており、お互いがカバーしあいながらの生活です。当直もあるし刑事課自体が呼び出しがある部署なので夫がカバーしてくれています。異動も多く男性が多い職業ですが、働きにくさはありません。もちろん体力や体格の差はありますので仕事に区別はありますが、女性にしかできない仕事も多くあります。警察は女性が必要な職場です。今は女性幹部を育てる動きがあって、上に行こうと思えば行きやすいと思います。

■高校時代は？

母が筑紫丘の卒業生だったので半強制的に受験させられ入学し、母も入っていた吹奏楽部に入部しました。それから先は部活だけでした。もう少し勉強した方がよかったと思うくらいでしたね。先生には悪かったと思っています。高校卒業してすぐ警察官になろうと思っていたのですが、親が猛反対。「大学は人生経験になるから行け」と言われて大学進学することにしました。



「警察官の仕事は県民に 安心と納得を与えること」 を信念に・・・

警察学校時代の教官に「お前たちの仕事は県民に安心と納得を与えることだ」

と言われました。私たちの周りには自分の力ではどうにもできないことが沢山あります。困って警察に相談があった時、その時の不安な気持ちをそのままにせず、解決はできないまでも道筋をたててあげることで、できるだけ安心と納得を持って帰ってもらいたいと思っています。被疑者を相手に仕事をしていると「世の中悪い人ばかりなの？」などと思ったり、変死事案もあって人の死が近くて自分の感覚が狂ってしまいますが、信念だけは忘れてはいけなと思っています。

■高校生にメッセージを

将来のことなど不安に思ったり、これからは大変なことがあるかもしれないけれど、今の友達との時間を大切にしたいです。高校時代は将来のことを考えることも大切です。でもそれ以上に皆さんが濃い時間を過ごしているであろう高校時代は絶対に戻ってきません。思い返しても高校時代が一番キラキラしていたし、高校時代の友達は一生の宝です。

研究者と教師になりたかった 研究も教育も その時のパフォーマンスが自分の情熱

福岡大学医学部医学科講師

42 回生 川野佳子 さん

■ 今のお仕事を教えてください

福岡大学医学部医学科で講師として、組織学及び細胞生物学における教育と研究に携わっています。教育では、教室に所属する複数の教員で教科を分担しており、ヒトの身体を細胞レベルで理解するために、人体各器官の組織標本を顕微鏡で観察する組織学実習を主に担当しています。研究では、遺伝子改変マウスモデルや培養細胞株を対象に疾患関連遺伝子の機能解明に取り組んでいます。

**大学の教員が目標だったが、
一貫したストーリーはなく、
異分野にも食欲に取り組んだ**



< Profile >

高 42 回生

九州大学農学部農芸化学科卒業

1997年 九州大学大学院農学研究科農芸化学専攻修士課程修了

2000年 九州大学大学院農学研究科農芸化学専攻博士課程修了

2000年 代々木ゼミナール講師 (化学)

2001年 九州栄養福祉大学食物栄養学部 助手

2005年 (独) 科学技術振興機構 研究成果活用プラザ福岡 博士研究員

2007年 福岡大学医学部医学科 博士研究員

2008年 福岡大学医学部医学科 助教

2011年 福岡大学医学部医学科 講師

一浪して九大農学部に入學し農芸化学科で生化学の教室に入りました。「種の蛋白質のアミノ酸配列構造を決定する」というテーマで卒論から入ってそのまま2年修士課程、その後3年博士過程合計9年間大学に行きました。その間博士課程1年の時結婚。博士課程3年で1人目を出産して卒業しました。その当時、製薬会社の研究所の求人等がありましたが、子どもがいて就職活動どうなのかな?と思って就職活動はしませんでした。小倉にあった管理栄養士を養成する私立大学に誘われ、子どもを預けて助手として働くことになりました。その4年の間に2人目を出産して育休を半年取って復職するのですが、その頃育休を取るの私が初めてで「え?育休?」という感じで周りは「普通辞めるでしょ?」という雰囲気でした。「すみません、迷惑かけて」と言っていました。その後科学技術振興機構の博士研究員として2年間働きます。研究職はポジションを維持するために、任期があったり、テーマが変わりますがそれなりに学ぶことができました。

研究者の仕事って 結婚や子育てと両立できるの? 女性研究者研究活動を支援

■ 現在の職場で女性研究者を増やすプロジェクトに参加

女子学生は全学生の半分なのに、女性の大学教員は少なく、特に理系女性教員は女子学生の割合を大きく下回ります。これを是正するために文科省の「女性研究者研究活動支援事業」へ福岡大学も参加することになりました。女性研究者を育てて行くためには、自分達がボトムアップして上位職、准教授、教授になっていくロールモデルが必要です。結婚して、子どもを産んで長く続けている人が少ない中、筑紫丘の先輩、榑木晶子先生(高25)(九州大学のきらめきプロジェクト創始者)とこの時知り合いました。

研究職の子育ての大変さについてはアドバイスができますが、研究に関して

は自分のテーマをコントロールするのは自身の問題で、分野がそれぞれ違うので自分と比較はできません。少しずつ女性研究者は増えてきています。今は少数派ですが私達が切り開いて行かないといけないと思っています。

研究も教育も 自分がやっていること全てがやりがい

研究は誰も道を開いていない、誰も世界中で発見もしていないことを私が最初に示すスタンスで行います。自分が初めて証明して、そのことが世の中の役に立つことが研究職のやりがいです。その時のパフォーマンスが自分の情熱であって、ネガティブになることもありますが、ポジティブを生かしています。大学教員の責務である教育と研究がどちらも充実するよう、まだまだ自己研鑽を積み、日々戦い続けて行く必要があると思っています。

■ 高校生へのメッセージ

私は母親が働いていなかったもので、自分が出産などのライフイベントと仕事を両立するような今の人生は想定していませんでした。高校時代に自分が感じた方向を信じていれば、なりたいたものに近づけると思います。最終的には大学で専門性が決まります。私は学生の時に塾の講師をしたことで教職を意識するようになり、大学院に行ったことで大学の先生になりたいと絞られてきました。向いていないことに一生懸命にならなくても向いていそうな方向を見たらきつと思う方向に進めると思います。



「紹介してほしい人」を募集します

OKAME STYLE は年2回の発行を予定しています。今後の紙面に取り上げてほしい卒業生をご紹介ください。自薦、他薦どちらでも構いません。「こんな素敵な人がいます」「この人の話が聞きたい」。多数のご推薦をお待ちしています。

広報委員長 小川訓名 (高36回生)

連絡先: 同窓会事務局 oka.dousoukai@gmail.com

子育てしながら磨いた多様なスキル WEB からコミュニティまで、 デザインで絆をつなげる



WEB / グラフィック / UX / コミュニティ
デザイナー ※1

39 回生 山本奈穂子 さん

■ 肩書がたくさんありますが、今の活動は？

WEB やグラフィックのデザイン制作が本業ですが、大学でデザインの指導をしたり、代表理事をしている小郡市の地域団体で、女性リーダー育成の講座を開催したりしています。一人ひとりの能力をエンパワーメントして社会変革に繋げる手法である「コミュニティ・オーガナイズ」にはコーチ・講師として関わっています。“子どもたちの学びをもっと自由に楽しくしたい”と活動する Kids Code Club ではプログラミングのワークショップを企画。制作の仕事の傍ら子どもから大人までの『教育』に関わることが増えています。

「このままでは終われない」という気持ち。

WEB制作を独学して仕事に

■ 山本さんの情熱はどこから？

大学卒業後、九州松下電器に入社してシステムエンジニアになりました。結婚しても共働きが当たり前だと思っていましたが、妊娠してつわりが酷くなって会社を休みがちになってしまいました。入社4年目でそろそろ責任ある仕事を任せられている立場なのに、会社や同僚に迷惑をかけるのが心苦しく思い悩むうちにお腹の子どもの成長が止まってしまい流産しました。慣れない家事、仕事の責任のプレッシャーと精神的にも不安定で体調を崩し、退職を選びました。しかし、同期の仲間が頑張っている中、仕事を途中で辞めてしまう自分が悔しく情けなく、このままでは終われない、という気持ちでした。



制作指導をしたWEBサイト「かがたまた」。ユーザーの体験 (UX) を軸に西日本工業大学デザイン学部 情報デザイン学科の3年生がデザイン。 <https://kagatama.org/>

WEBの仕事は子どもを見ながら 在宅でできる。 SOHOの先駆けだった

仕事もしたいし、子どもも産み育てたい。そこで、自分にあった仕事のスタイル SOHO (Small Office Home Office) を見つけました。これなら自分のペースで無理なく、誰にも迷惑をかけずに仕事をする事ができると考えました。WEB制作に目をつけたのは全てリモートで作業ができるのと、まだインターネットが十分に普及していない時期で、将来「これはいける！」と直感したから。何かを作り出すという作業も好きなので、楽しく仕事できました。SOHO は当時まだ珍しい働き方でした。

わが子のために作った「しかけえほん」 が大ヒット。

ちょっと上の仕事を必死でやる

何か子どもと一緒に遊べるものを、とわが子の為に作った「しかけえほん」というアニメーションゲームが、ソニーのポータルサイト、So-net に採用されて約7年間掲載されました。イラストを本格的に描いたのもこの頃でデザイナーとして初めての仕事になりました。デザインはすべて独学だったので何をやるにも自信がない私でしたが、担当の方に「やまもとさんの世界感がある」と評価して頂きとても嬉しく自信につながりました。仕事を受けるときは、今できることよりちょっと上の仕事をするようにしていました。そのために勉強し必死でやることでスキルが上がっていきました。

キャリアが中断された女性たちを 応援したい。 母親のサポートが子どもたちの幸せに

福岡県の女性リーダー育成「いきいき塾」を通して出産・子育てでキャリアが中断した女性たちの役に立ちたいと強く思うようになりました。子どもが小さいと動けない、働けないと思う人もまだ多いけれど、朝早く起きたりスキマ時間を利用したり、時間はいくらでも作り出



< Profile >

高 39 回生

福岡女子大学家政学部家庭理学科卒業

1991年 九州松下電器 (株) (現 Panasonic) 入社

1996年 九州松下電器 (株) 退職

2001年 So-net KidsParty「しかけえほん」担当開始

2006年 久留米の情報誌「ノーマ・ゾーン」掲載

2007年 福岡県広報紙「グラフふくおか」に掲載

2013年 「ふくおか女性いきいき塾」卒塾 (1期生)

小郡市地域コミュニティ「CORAL」設立 (代表理事)

2017年 Kids Code Club に参加

西日本工業大学にてデザインの講師

2018年 久留米市で NPO 法人 coco change 設立 (理事)

ELFA.studio <http://www.elfa-studio.com>

Kids Code Club <http://kidscodeclub.jp/>

CORAL <https://coralogori.jimdo.com/>

すことができます。そのことを伝えたい。ITを使えば遠くにもミーティングできるし共同作業も簡単です。子育て中の女性こそ IT を使えるようになってほしいと企画した動画講座では、Google ドライブや Zoom ミーティングを自然と学べるようにしました。母親の IT リテラシーが上がることは、子どもの学びの環境にも良い影響があると考えています。

■ 高校生へのメッセージを

失敗しても大丈夫。失敗を恐れず行動して欲しいです。私も仕事を辞めなければ今の活動はしていませんし、悔しい思いをしたからこそ頑張りました。どんな経験にも意味があります。私は、スティーブ・ジョブズのスタンフォード大学卒業式でのスピーチの「Connecting The Dots」の話がとても好きです。何ごとも好きで夢中でやっていたら必ず未来につながります。“You can't connect the dots looking forward; you can only connect them looking backwards. So you have to trust that the dots will somehow connect in your future.”

※1: UX (ユーザーエクスペリエンス)

街の格式を創るのは百貨店 天神をこよなく愛する 岩田屋三越初の女性人事部長



株式会社岩田屋三越 総合企画部
人事・人財開発担当部長

36 回生 井上真紀さん



< Profile >

高 36 回生
九州大学法学部卒業

1989 年 株式会社岩田屋 入社
1991 年 総務部 法務担当
2002 年 岩田屋が伊勢丹傘下に
2007 年 法務担当長
2010 年 株式会社福岡三越と合併、株式会
社岩田屋三越となる
2012 年 総合企画担当長 (部長)
2015 年 営業政策担当長 (部長)
2017 年 人事・人財開発担当長 (部長)

■ 今のお仕事は？

人事及び労務全般の責任者です。採用、教育、異動、メンタルヘルスの制度構築、女性活躍も仕事の範中です。入社した時は、まずは婦人服売り場でその後、総務部の法務担当(契約や訴訟対応、株主総会)でした。岩田屋もいろいろあって、伊勢丹からの支援を受けて企業統合、子会社化、株式の上場廃止などの仕事を担当しました。会社対会社の契約ごとや交渉ごとなどがほとんどだったので、人事に異動したときは畑違いで1400人の社員を見ていく仕事は晴天の霹靂でした。

**男女平等に登用、
昇格するシステム作り。
女性の活躍を後押ししたい**

■ 1400人の社員はどのような男女比ですか？

女性1000人、男性400人です。女性1000人中契約社員は600人いて、一年ごとの有期契約だったのを無期化にする制度改革をして女性の働き方改革を進めています。

採用も担当なので就職希望の大学生や高校生、100名以上の面接をします。若い人は地元志望が強く転勤を希望しない人が多いのですが、うちは三越伊勢丹のグループ採用なので敬遠されがちのうえ、地元の大手企業との引っぱり合いで、企業としていかにアピールするかが重要課題です。

女性にとっては結婚、出産しても働きやすい会社だと思いますが、昇格に関しては厳しい面があります。現在部長職が30名いますが、女性の部長は私を含め4名なのでいかに女性を増やしていくのが大きな課題です。私が就職した時、

総合職幹部候補生は男性の方が多かったけれど今は女性も多いので、将来有望な女性の活躍をもっと後押ししていきたいです。

**あまり考えなかった高校時代
男女分け隔てなく上司が育ててくれた**

■ 高校時代は？

高校入学して周りの人がすごい人ばかりで「ああ、私はなんて普通なの？」って思いました。卓球部を途中挫折して文芸部に入って、エッセイもどきを書いたり、文集を作ったりして盛り上がっていました。今考えると本気で転げまわって、後にも先にもあんな真剣に突ったことはないですね。自分の好きなことでは男女関係ない付き合い方をしていました。

大学は普通に一浪して九大法学部へ。卒業後は地元、特に大好きな天神で働きたかったので岩田屋を選びました。就職して法務の仕事ができて幸せだったのは、男性上司が差別せずに仕事を教えてくれて、交渉の場や弁護士との面談でも、どこでも連れて行ってきて、実際にやり取りさせてもらって仕事を覚えられたこと。分け隔てなく育ててくれた上司がいたことが幸せでした。

**お金には換えられない経験が原動力。
実体験をつめばつむほど、
仕事の結果がついてくる**

会社の大きな交渉を成立させる、トラブルを解決する、自分で考えてそれを折衝し上司から許可を取り付けていくのはやりがいがあります。自分自身のいろんな引き出し作りは実体験がないとできないし、その場にはないとわからないことがあるので「会社には行っとこ

う！」と、休みという概念は横に置いていました。

会社が伊勢丹傘下になる時、経営陣が変わっても法務の仕事の内容は変わらず、外部の組織や銀行の経営陣と仕事ができなかったことは、交渉術や経営の考え方を盗めるチャンスでした。今の人事の業務は始めたばかりでこれからですが、今年初めて採用した人が新入社員として働いていますし、1400人の子どもがいると思っています。

どんな時でも、味方はいます

■ 高校生へのメッセージ

今から先「ひとりぼっち」と感じる時があるかもしれないけれど、どんな時でも自分は一人ではなく、味方は絶対います。10人中2人が自分のことを嫌いだとしても2人は自分のことを好き。後の6人くらいは無関心です。自分を好きな2人は味方だと考えて、そのほか無関心な6人から味方ができる可能性だってあるって思って欲しいです。

【編集後記】今回は「情熱」をテーマに4名の卒業生にお話を伺いましたがいかがでしたか？

・今回取材させて頂いた4人の方、年齢も生き方も皆さん違うのに、何故か共通するものがありました。それは「今」に情熱があること。そして過去の「今」の積み重ねが輝くものになっているんだと。同窓生としてとても誇らしく、初めてお会いしても心が和むそんな取材のひと時でした。これからも素敵な丘女と出会える事を楽しみにしています(小川)

・人の話を聞くのが好きな人、文章を書いてみたい人、新しい自分を見つけないか？ネット環境があれば在宅ワークでOKですよ～(太田)

【制作】丘女会広報部：小川訓名(高36)、太田由美子(高32)、米澤一江(高49) デザイン：藤田明子(高39)

※制作ボランティアスタッフを募集しています。興味のある方は広報スタッフもしくは事務局までご連絡ください。